

## 《木まつり 2018-November》

「木のこともっと知ってもらおう！もっと使ってもらおう！」を合い言葉に新木場から木材の情報発信をしてゆこうと若手材木商が呼びかけ合って新木場倶楽部に集まったのが平成17年、それから産官学の連携で続けてきた「新木場木まつり」ですが、今年からはその枠組みを「公・民・学」と読み替え、「産」を象徴する「新木場」を外し「木まつり」と改称し計画しました。公はコミュニティ、民は地域の住まい手、学は木の愛好家です。そしてJIA埼玉と協働し、何回かのシンポジウムを開催することになりました。その第二弾、再び妙壽寺の施設を会場に借用した連続講座を紹介いたします。

### プログラム A

- 基調講演 1 『(仮題) 現代の和構法』 講師 内田祥哉 (東京大学名誉教授)
- 基調講演 2 『(仮題) 近代和風の活用と保存』 講師 後藤 治 (工学院大学理事長)  
司会 三浦清史 (JIA埼玉)

11月13日(火曜日)午後1時～午後4時30分<無料> [会場] 妙壽寺 鍋島客殿 (東京都世田谷区北烏山 5-15-1)

定員 50名

#### 【プログラムの概要】

昨年までの「新木場木まつり」で、木材や木造技術の評価能力が低下した要因の一つとして、住宅の近代化や経済性追求の過程で銘木趣味や和室空間が失われてきたことなども指摘されています。シンポジウムの会場は狸穴にあった蓮池藩鍋島家の住宅を昭和初期に移築し妙壽寺の客殿として活用されている近代和風建築で、世田谷区の有形文化財に指定されています。そこで妙壽寺客殿を会場に、講師に内田祥哉 東京大学名誉教授と後藤治 工学院大学理事長を迎え、これからの和構法の考え方と近代和風の保存の手段を学ぶシンポジウムを企画しました。

### プログラム B

- 基調講演 『(仮題) エクセルギーの読み方・考え方』 講師 宿谷昌則 (東京都市大学環境創生学科教授)  
司会 宮坂公啓 (宮坂木造研究開発室)

11月16日(金曜日)午後4時30分～午後7時<無料> [会場] 妙壽寺 猿江別院 本堂 (東京都江東区猿江 2-5-14)

定員 30名

#### 【プログラムの概要】

いわゆる「建築」の評価は建築空間の視覚的な効果や印象について語られることが長く続いてきたように思えます。宿谷昌則さんが語る建築は「人が快適に暮らせる建築環境」です。この建築環境をできるだけ少ない電力や化石燃料で、自然の光や熱などを利用して建築を設計する理論を明らかにしてきたのが宿谷さんの研究成果です。その特色は縦割りの学科領域を自由に横断して未耕地を切り拓く姿勢にあります。最新の著書は2019年初めに米国のCRC Press社から出版されるBio-Climatology for Built Environment (直訳すれば、「建築環境の生物気候[風土]学」)。

みなさまのご参加お待ちしております。

今回の木まつりは会場の都合上、予約申込制となります。

ご希望のプログラム(AかBか)、お名前、連絡先(ご住所及びお電話番号、またはメールアドレス)をご明記の上

下記のメールまたはFAXでお申し込み下さい。

JIA 埼玉事務局 (こうだ建築設計事務所内) aru3@f2.dion.ne.jp / fax 048-885-7859

主催 新木場倶楽部 / 共催 日本建築家協会関東甲信越支部埼玉地域会 (JIA埼玉) / 協力 妙壽寺

この企画は江東区中小企業振興事業補助金の助成を受けて実施しています。